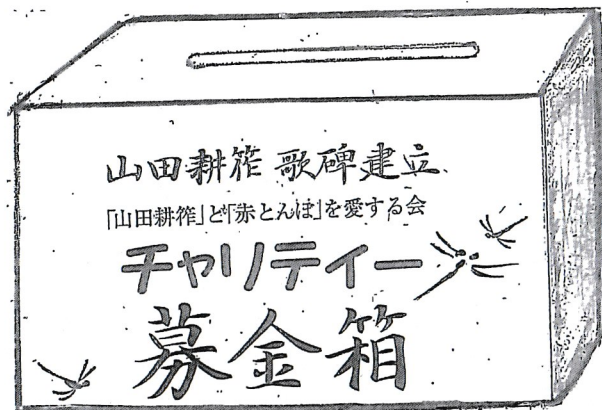


寄付



舞タウンニュース社

■茅ヶ崎版 No.1266 2012年 (平成24年) 元旦(日)

# 歌い継ぐ「赤とんぼ」

## 産学公で今春山田耕筈の碑を設置



茅ヶ崎に移住した頃の山田耕筈 (右) ※冊子「ちがさきと山田耕筈」より

日本を代表する音楽家である山田耕筈は1926年、40歳の時に家族6人で茅ヶ崎へ移住してきた。2年前に設立した日本交響楽協会(後のNHK交響楽団)の分裂問題などで疲れ果ててのことだ。

南湖や東海岸北などに居を構え、子どもらと過ごす日常と湘南の穏やかな気候

が再び彼に作曲への意欲を芽生えさせた。名曲「赤とんぼ」や「この道」「砂山」といった童謡の普遍的なメロディを作り上げていったのがまさに茅ヶ崎で過ごした約6年間だ。

「赤とんぼ」の発表は移住翌年の27年、意外にも当初は余り歌われることは無かったとのことだが、その

茅ヶ崎の街で創作された山田耕筈の代表作「赤とんぼ」を後世に伝えようと、市内の産学公が連携して2年前に立ち上げた「童謡『赤とんぼ』の碑を建てる茅ヶ崎市民の会」。今年3月に待望の記念碑が建立される。

叙情的なメロディは第2次世界大戦(1939年)45年頃からラジオ放送などで日本全国へ広がっていった。この作品は現在も、ふるさとの歌として思い出される世代を超えた代表曲となっている。

街の文化的財産を形に

茅ヶ崎で生まれたこの文化遺産を形に留めようとして、年前に立ち上がったのが「童謡『赤とんぼ』の碑を建てる茅ヶ崎市民の会」。商工会議所の田中賢三会頭を会長とし、文化団体や市内有志企業などが記念碑の建立に向け活動を行っている。製作に関してはTOTO(株)や東邦テック(株)などの市内企業、デザインなどは文教大が担当。茅ヶ崎市も設置許可でサポートしており、産学公が一体となり取り組んでいるのもこのプロジェクトの特徴だ。

### 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号 00270-4 通常払込料金加入者負担

加入者名 童謡赤とんぼの碑を建てる茅ヶ崎市民の会

金額 100,000

二依頼人 山田耕筈と「赤とんぼ」を愛する会 代表 内山喜代子様

料金 22-11-08 ゆうちょ銀行 茅ヶ崎店 (0202)14 N91530088

### 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号 00270-4 通常払込料金加入者負担

加入者名 童謡赤とんぼの碑を建てる茅ヶ崎市民の会

金額 100,000

二依頼人 山田耕筈と「赤とんぼ」を愛する会 代表 内山喜代子様

料金 23-02-04 ゆうちょ銀行 茅ヶ崎店 (0202)08 N91680015

記載事項を訂正した場合はその箇所二訂正印を押してください。

記載事項を訂正した場合はその箇所二訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

この受領証は、大切に保管してください。

払込取扱票		通知番号 23号	
口座記号番号 00270-4-69514		口座番号 00270-4-69514	
金額 302,594		払込金額 302,594円	
加入者名 童謡赤とんぼの碑を建てる茅ヶ崎市民の会		口座徴収料金 330円	
取扱年月日 平成23年12月19日		取扱店 茅ヶ崎南湖	
取扱店 茅ヶ崎南湖		(02397) 横浜 貯金事務センター	
一連番号 91380-008		00000302594	
二依頼人 山田耕筈と「赤とんぼ」を愛する会 代表 内山喜代子様		三橋 博	